

## 7. 薬学部、薬学研究科

( 分析項目Ⅰ 研究活動の状況	.....	21 )
( 分析項目Ⅱ 研究成果の状況	.....	21 )

## 分析項目Ⅰ 研究活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 約2年間の準備期間を経て、令和元年度より国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所との新規連携講座（講座名：実践創薬研究プロジェクト バイオ医薬品化学分野及び疾患解析化学プロジェクト分野）を2分野開設した。

## 分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 高い質にある

〔判断理由〕

学術的に卓越している研究業績が、6件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、高い質にあると判断した。

特に、「生体リズムを基盤とした時間医薬科学に関する研究」「生物活性天然物の全合成研究」は、学術的に卓越している研究業績である。